

分類	3-34	教科名	農業	科目名	課題研究	
対象学科 (コース)	造園科 (I・緑地計画)		学 年	3	単位数	4
指 導 目 標	生活スタイルに配慮した、住環境(エクステリア)の設計と、街区公園等の設計を行う。庭園図面を作成し、プレゼンテーション方法を学ぶ。完成の予想が誰にでもわかる仕上げとする。					
内 容	<p>(1) 住宅敷地内に間取りの設計を行った住宅図を設置し、その住宅周辺の駐車場スペース、玄関までのアプローチ、各部屋の前の空間設定と庭園、空間の利用と、それぞれの空間を結ぶ動線など、生活と一体化した、庭園設計を行う。</p> <p>(2) 環境に配慮し、景観にも十分に配慮した設計とする。完成の予想ができるように、パース図面を多く作成し、プレゼンテーション力を高める。</p> <p>(3) 街区公園の設計を利用者の年齢構成、地域環境、人口分布など総合的な調査を行いながら、地域にあった公園設計を行う。</p>					
内容の取扱い	<p>(1) 造園材料の種類と取り扱いを重点的に学ぶ。具体的には、3級造園技能検定の資格取得と土、石、セメント、レンガ等の各種材料の取り扱いを含めた実習を行う。</p> <p>(2) 木本植物・草本植物の自生状況や手入れ方法を学び、デザインに合った活用が図れるようにする。スケッチや図鑑検索等を通して理解を深める。</p> <p>(3) 地元の自然公園である臥竜公園の植生や生態系について学び、合わせて植物の管理について、病害虫の理解を通して学び、各自の設計主旨に生かす。</p> <p>(4) 応用課題として、全国造園デザインコンクール図面に取り組み、個別にテーマを設定する。</p>					
指 導 計 画	学 期	指 導 事 項	指 導 内 容			予定時間
	1 学 期 4～6 月	樹木の基礎知識と植栽のデザイン	植物材料とその特性 植栽設計の基礎知識 配植の手法と植栽管理			4 0
		〃				
		庭の構成要素	住宅の庭作りの基本 玄関から門廻り・園路・垣根・庭石・石造品・石組			
	2 学 期 7～11 月	庭の植栽手法	前庭・主庭・中庭・坪庭			5 6
		〃	屋上庭園			
		〃	茶庭			
		〃	イングリッシュガーデン			
	3 学 期 12～3 月	応用課題	全国造園デザインコンクール図面、課題図の制作			4 4
		集合住宅の植栽	大規模建築物の植栽計画			
		街並み植栽				
		〃	〃			
教科書・副教材他	「緑のデザイン図鑑」株式会社建築知識					

評 価 規 準					
評価項目・対象	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
講 義	◎			○	
実 習	◎		◎	○	
作 品 製 作		◎		○	
発 表 会		◎	◎	○	
評 価 の 重 点	講義、実習、作品製作、発表会の総合評価				